



塩屋小学校



大宜味小学校



津波小学校



喜如嘉小学校

# おおきみ 大宜味

広報 No.252

KOHO OGIMI 2016年3月1日

## 記憶に残る 集大成の発表会

日時: 1月14日(塩屋)、1月31日(大宜味、津波)、2月7日(喜如嘉)  
 撮影場所: 村内各小学校体育館(塩屋、大宜味、津波、喜如嘉)

# 『学芸会』『学習発表会』

## 大宜味小学校「学芸会」



大宜味小のなかまたち



シマンター物語



全児童合唱

1月31日、大宜味小学校体育館にて学芸会が行われました。今回の学芸会は「大宜味小、大宜味小校区について調べよう、伝えよう、残そう」をテーマに取り組んできた「ふるさと学習」が元となっています。1・2年生は、生活科の学校探検で校内の生き物や植物を調べて「最後の学校の様子を伝える」を歌と劇で紹介しました。3・4年生は、校区の方言や独特な言葉を調べて「校区内の饒波、大兼久、大宜味、根路銘、上原のことを伝える」をおもしろい劇で発表しました。5・6年生のテーマは「大宜味小の人・もの・ことを伝える」となっていて、総合的な学習の時間や個人・グループで行動し、記念碑や大宜味小の偉人、地域の方々、記念誌などから情報を集めて映像を使った発表を行いました。子ども達は、自信をもって発表でき、満足した様子でした。観客の皆さんからも「元気でハキハキした調べ学習の発表に感動した。」や「なつかしい言葉などがあり、思い出が蘇ってきた。子どもたちの取組に感謝します。」など、多くの言葉を頂きました。



## 津波小学校「学習発表会」



幕開け「三線」



歌「つはんちゅぬ宝・世界の友だち」



ダンス「津波小大好き」

1月31日、津波小学校体育館にて「キラキラ輝くステキな笑顔みんなの心を一つに一致団結～津波小学校105年の歴史を胸に～」をテーマに学習発表会が行われました。幕開けでは子どもたちによる「海ぬチンポラー」の踊りと三線での「テンヨー節」や「ていんさぐぬ花」、「七月で一びる」が演奏されました。その後、昭和53年から発足している交通少年団による交通安全誓いの言葉が行われ、「つはんちゅぬ宝・世界の友だち」の歌と「島人ぬ宝」の合奏、「津波小大好き」のダンスで盛り上がりました。限られた練習時間と最後の学習発表会という思いが十分に表れ、子どもたち一人ひとり19名全員が主役となり、素晴らしい発表会となりました。保護者・地域の方のほか、来賓やゲストの方々からは「子どもたちの発表に涙ぐるぐるしたさ～。いい発表だった。先生方の指導がすばらしい。」など、感動と称賛の言葉をたくさんもらっていました。



# 思い出詰まった学舎で最後の

## 喜如嘉小学校「学芸会」



THE 創る 未来へのかけはし



マッスルフェスティバル



観桜会での表彰

2月7日、喜如嘉小学校にて「輝け 喜如嘉っ子 力を合わせて 堂々とやり切るぞ」をテーマに学芸会が行われました。1年生は「十二支のはじまり」を元気いっぱいやり切り、4・5年生の「THE 創る 未来へのかけはし」では、ダンス・歌・音読で母校への誇りと感謝を表現したパフォーマンスが披露され、観客を感動の渦に巻き込みました。6年生の「マッスル・フェスティバル」では、児童達が体育で培ったマット運動や跳び箱の技の他、大人顔負けの司会進行が行われました。開脚前転や伸膝前転、閉脚跳びに加え、バック転、ロンダートと次々に繰り出される技は、観客を釘付けにしました。次の2・3年生によるオペレッタ「いなかのねずみ まちのねずみ」では、一人ひとりが一生懸命曲に合わせ熱演してくれました。最後の全校児童による「君をのせて」の大合唱の後には、児童会長の山口栄智くんから「小学校での経験を大切に、中学校でも頑張っていきたいです。」と喜如嘉小学校で生まれた6年間の感謝と4月から始まる中学校生活への夢を語ってくれました。

学芸会終了後には、喜如嘉小学校120周年記念庭園の広場にて「観桜会」が開催されました。70年前に現在の狭間に移転して以来、先輩達が卒業記念に植えてきた数百本の桜の下で、児童・保護者の俳句、短歌、自由詩の中から最優秀作品10点が選ばれ、表彰を受けました。

## 塩屋小学校「学習発表会・学推報告会」



幕開け「三線」



一輪車



3～6年生による合奏

1月14日、塩屋小学校体育館にて学習発表会と学推報告会を行いました。幕開けには、今年度発足した三線部の児童による「ていんさぐぬ花」「瀧落とし」の歌と演奏が行われました。学推報告会では、本年度の学力向上の取組や生活実態調査、運動の取組成果と課題が報告され、足かけ3年目になる「屋古のチョウ観察会」の調査研究の成果を自然観察クラブ全員で発表しました。学習発表会では、群読や自分で作った詩の朗読、物語の朗読劇、縄とびや一輪車の演技、合唱や合奏など日頃の学習の成果が元気よく発表されました。全員で歌った「校歌」と「ふるさと」の場面では、懐かしそうに聞き入る地域の方から「なだ、うるうるしました。私たちが育った学校がなくなる寂しさがあったけど、子ども達が元気いっぱいとても感動しました。」と話してくれました。

最後は児童全員から「塩屋小学校で色々なことをたくさん学びました。そのことは私たちの心に焼き付いています。新しい学校に変わっても、塩屋小学校のことは絶対に忘れません。」とあいさつがあり、保護者や地域の皆様に大好評の学習発表会となりました。

# 村職員の給与状況

地方公務員の給与については、国家公務員の給与を基準として、村議会において予算及び給与条例の審議により定めることになってはいますが、村民の皆様にご理解とご協力をいただくためその内容をお知らせ致します。

沖縄県とは県職員のことです。

## 1. 人件費の状況（一般会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (3月末)	歳出額 (千円)	実質収支 (千円)	人件費 (千円)	人件費率 (千円)	前年度人件費率 (%)
平成26年度	3,232人	4,136,114	138,139	633,585	15.3	19

※人件費には、議員報酬、各種委員報酬、特別職給与、職員給、共済組合等負担金、退職金、恩給、災害補償費等が含まれています。

## 2. 職員給与費の状況（一般会計）

平成26年度決算における人件費のうち給与費は次の通りです。

区分	給与費	給与費				1人当たり 給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計	
平成26年度	71人	249,085千円	21,994千円	88,557千円	359,636千円	5,065千円

## 3. 職員の平均給料月額及び平均年齢の状況（平成27年4月1日現在）

	一般行政職		現業職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
大宜味村	274,400円	38歳1月	289,100円	49歳3月
沖縄県	311,500円	40歳9月	351,300円	52歳5月



## 4. 職員の初任給の状況（平成27年4月1日現在）

区分		大宜味村	沖縄県
		初任給(円)	初任給(円)
一般行政職	大学卒	174,200円	174,200円
	高校卒	142,100円	142,100円
医療職	大学卒	203,400円	203,400円
現業職	高校卒	139,500円	139,500円

## 5. 特別職の報酬等状況（平成27年4月1日現在）

区分		月額	期末手当支給割合
給料	村長	720,000円	6月1.475月分
	副村長	584,000円	12月1.625月分
	教育長	548,000円	(計)3.1月分
報酬	議長	263,000円	6月1.475月分
	副議長	218,000円	12月1.625月分
	常任委員長	211,000円	(計)3.1月分
	議員	203,000円	

## 6. 期末・勤勉手当の状況 (平成27年4月1日現在)

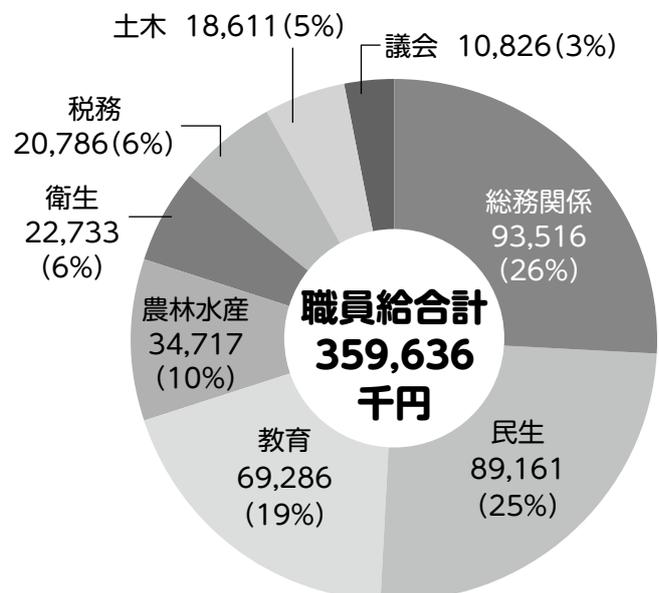
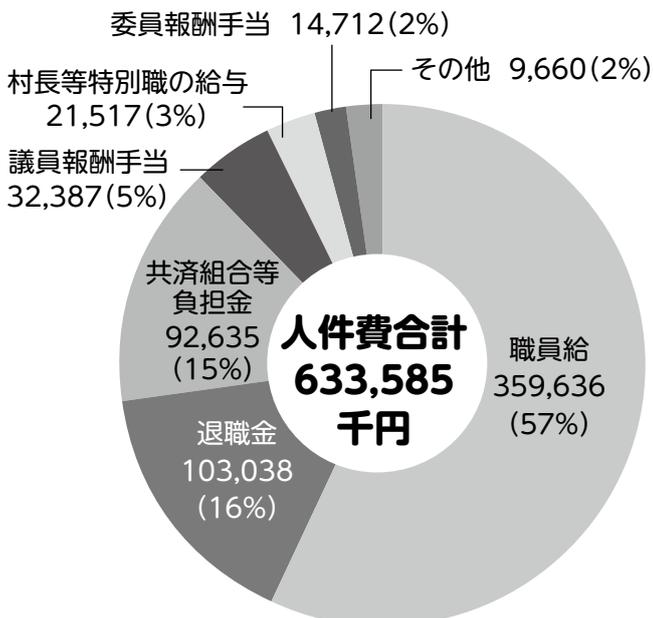
区分	大宜味村			沖縄県		
	期末手当	勤勉手当	計	期末手当	勤勉手当	計
6月期	1.225 月分	0.75 月分	1.975 月分	1.225 月分	0.75 月分	1.975 月分
12月期	1.375 月分	0.75 月分	2.125 月分	1.375 月分	0.75 月分	2.125 月分
計	2.6 月分	1.5 月分	4.1 月分	2.6 月分	1.5 月分	4.1 月分

## 7. 級別職員数 (平成27年4月1日現在)

一般行政職			医療職			現業職		
級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)	構成比 (%)
1	16	24	1			1		
2	8	12	2			2		
3	17	25	3	1	50	3	4	100
4	17	25	4	1	50	4		
5	3	5				5		
6	6	9						
	67	100.0	計	2	100.0	計	4	100.0

## 8. 部門別一般職員数の状況と主な増減理由 (平成27年4月1日現在)

区分 部門	職員数		対前年 増減数	主な 増減理由	
	26年度	27年度			
一般行政部門	議会	2	2	0	
	総務	17	19	2	会計・観光業務強化
	税務	4	4	0	
	福祉	17	18	1	保育業務強化
	衛生	5	5	0	
	農林	7	7	0	
	土木	4	4	0	
	小計	56	59	3	
特別行政	教育	13	13	0	
	小計	13	13	0	
公営企業等	水道	2	2	0	
	その他	1	1	0	
	小計	3	3	0	
総合計	72	75	3		



人件費の内訳 (平成26年度決算) 単位：千円

職員給の状況 (平成26年度決算) 単位：千円

# 軽自動車税についてお知らせです!!

平成27年4月1日以降に新車登録された軽自動車の税率が、平成28年度より、**7,200円から10,800円**に増税されました。また、新エコカー減税と購入翌年の軽自動車税を減税するグリーン化特例が導入されました。

## ◆エコカー減税とは?

排出ガス性能及び燃費性能に優れた自動車に対して、それらの性能に応じて、自動車重量税と自動車所得税を免税、軽減することです。

## ◆グリーン化特例とは?

排出ガス性能及び燃費性能に優れた自動車に対して、それらの性能に応じて、軽自動車税を軽減するとともに、新車新規登録等から一定年数(13年)を経過した軽自動車に対して軽自動車税を重課することです。

## 原動機付自転車・小型特殊車・軽二輪・二輪の小型自動車等もひきあげられます!!

税制改正により、原動機付自転車、二輪車、小型特殊自動車等の税率の引き上げられることになりました。

車種	平成27年度まで	平成28年度から	
原動機付自転車	50cc以下	¥1,000	¥2,000
	51cc~90cc	¥1,200	¥2,000
	91cc~125cc	¥1,600	¥2,400
	ミニカー	¥2,500	¥3,700
軽自動車	軽二輪	¥2,400	¥3,600
	軽三輪	¥3,100	¥3,900
	軽自動車	¥7,200	¥10,800
小型特殊自動車	農耕作業用	¥1,600	¥2,400
	その他	¥4,700	¥5,900
二輪の小型自動車	¥4,000	¥6,000	

## ※廃車手続きはお済みですか?

原動機付自転車や軽自動車等に対する軽自動車税は、毎年4月1日現在で車両を所有(登録)している場合に、年税額が課税されます。そのため、4月2日以降に廃車や名義変更をされても、月割り課税の制度は無く、その年度分の税金は納めていただくことになります。また、車両を廃車しても還付はありません。軽二輪(126cc~250cc)、軽自動車は、軽自動車協会にて廃車、小型二輪バイク(251cc以上)は、陸運事務所にて廃車ですので、ご注意下さい。

☆軽自動車協会 住所 浦添市字港川512-51 ☎098-877-8274  
☆陸運事務所 住所 浦添市字港川512-4 ☎050-5540-2091

お問い合わせ先 大宜味村役場 財務課 軽自動車係 ☎0980-44-3002



## 平成28年4月1日よりごみの分別方法が変わります。

### ○ごみ分別方法が変更になるもの

廃プラスチック類 → もやせるごみ  
古紙類(本・雑誌類、新聞・チラシ、段ボール) → 資源ごみ 第2・4土曜日  
電池・乾電池 → 危険ごみ

詳細につきましては、新しいパンフレットをご覧ください。

お問い合わせ先: 大宜味村役場 建設環境課 ☎0980-44-3280

## シークワサー生産農家の皆様へ

平成27年度

## 大宜味村シークワサー振興補助金のお知らせ

大宜味村では、村内に住所を有するシークワサー生産農家を対象に、シークワサーの生産振興を目的とした、酢の物用と加工用とフルーツ用の出荷量に応じた①奨励補助金と②防除薬剤補助金を予算の範囲内で補助します。

申請を行う方は、この期間内に必要書類を役場産業振興課までご提出ください。

なお、補助金申請に必要な書類等は役場産業振興課にて配布を行っております。

記

交付対象者: 大宜味村内に住所を有し、今年度シークワサー出荷実績のある生産農家。

審査基準: シークワサーによる農業所得を申告している生産農家を対象とします。

※申告を行っていない場合は交付対象外となります。

補助金内容: ①奨励補助金 ②防除薬剤補助金  
対象作物: 対象作物: 大宜味シークワサー(酢の物用・加工用・フルーツ用)

対象期間: 平成27年度出荷取扱分

提出書類: 役場産業振興課にて配布しています。

補助金申請期間: 平成28年3月1日(火)~3月18日(金)

お問い合わせ・申請書提出先 TEL 0980-44-3232  
大宜味村役場産業振興課 FAX 0980-44-3999

## 平成28年度水質検査計画策定

水質検査計画を策定しました。公表方法は、大宜味村役場建設環境課及び大宜味村ホームページ上で閲覧となっております。

お問い合わせ先: 大宜味村役場 建設環境課 ☎0980-44-3280

## 国民健康保険被保険者証更新のお知らせ

3月は国民健康保険証の更新の時期です。下記の日程で更新を行います。

※保険税の納め忘れはありませんか?納め忘れのある方は更新前に納付してください。

更新期間(平成28年3月7日【月】~平成28年3月10日【木】)

場所	月日	時間
1 田嘉里公民館	平成28年3月7日(月)	09:30~10:30
2 謝名城公民館	平成28年3月7日(月)	10:40~11:40
3 喜如嘉公民館	平成28年3月7日(月)	13:30~15:00
4 饒波公民館	平成28年3月8日(火)	09:30~10:20
5 大兼久公民館	平成28年3月8日(火)	10:30~11:20
6 大宜味公民館	平成28年3月8日(火)	13:30~14:20
7 根路銘公民館	平成28年3月8日(火)	14:30~15:20
8 上原公民館	平成28年3月8日(火)	15:30~16:00
9 塩屋公民館	平成28年3月9日(水)	09:30~11:30
10 屋古公民館	平成28年3月9日(水)	13:30~14:00
11 田港公民館	平成28年3月9日(水)	14:10~14:50
12 押川公民館	平成28年3月9日(水)	15:10~15:40
13 大保公民館	平成28年3月9日(水)	16:00~16:40
14 江州公民館	平成28年3月10日(木)	09:30~10:00
15 津波公民館	平成28年3月10日(木)	10:15~11:45
16 白浜公民館	平成28年3月10日(木)	13:30~14:00
17 宮城公民館	平成28年3月10日(木)	14:10~14:40

※当日、保険証の更新が出来ない場合は11日以降に役場(住民福祉課)の窓口にて交付します。

※保険証の更新は、どの公民館でも出来ます。

※更新期間中は役場での更新はできませんのでよろしくお願い致します。

お問い合わせ先 大宜味村役場 住民福祉課  
国保年金係 TEL 0980-44-3003

平成28年  
大宜味村むらづくり  
応援寄附

一月分	件数	金額
	24件	475,000円

県内外より本村にご寄付頂き心より感謝申し上げます。  
本村のふるさと納税は以下の事業に活用しております。  
①産業の振興に関する事業  
②保健・福祉の充実に係る事業  
③教育・文化の振興に関する事業  
④生活環境の整備に関する事業  
⑤その他大宜味村を元気にする為必要な事業

満1歳お誕生日おめでとう!!

(タンカー祝い)

世界にたったひとつのスマイル!!

1歳の誕生日の子供 (3月生まれ)



新城 琉桜くん  
(颯波)  
(平成27年3月28日生)



平良 謙真くん  
(喜如嘉)  
(平成27年3月28日生)

村の人口

1月末現在

男 1,643人 (+3)  
女 1,517人 (0)  
計 3,160人 (+3)

世帯数 1,646世帯数 (-1)  
出産 2人 転入 9人  
死亡 4人 転出 4人

※注( )内数は対前月比

加入しましょう



家族揃って

掛金は  
おひとり



交通災害共済のしおり

各町村役場・沖縄県町村交通災害共済組合

交通災害共済

共済期間 / 平成28年4月1日～平成29年3月31日 2月1日から受け付けます

詳しくは、お住まいの町村役場へお問い合わせ下さい。

3月

March April  
3月1日～4月10日

大宜味村カレンダー



1 火	◆区長会 ◆辺土名高校卒業式
2 水	◆「体験の翼」報告会
3 木	◆県民2016クラシックコンサート
4 金	◆お別れ遠足(塩保)
5 土	
6 日	
7 月	
8 火	
9 水	
10 木	
11 金	
12 土	◆大宜味中学校卒業式
13 日	
14 月	振替休日(大宜味中3/12)
15 火	
16 水	◆幼稚園修了式
17 木	◆小学校卒業式(4小学校)
18 金	◆修了式・離任式(小・中) ◆PTA送別会(4小学校)
19 土	
20 日	春分の日
21 月	振替休日

22 火	◆PTA送別会
23 水	◆生涯学習講座⑥
24 木	
25 金	
26 土	
27 日	
28 月	
29 火	◆ほのぼののパーティ(喜如嘉・塩屋保育所)
30 水	
31 木	◆職員退職者辞令交付式
4月	April
1 金	◆区長会 ◆大宜味村学校職員辞令交付式
2 土	
3 日	◆学校説明会・学校施設見学会・開校移転式典・祝賀会
4 月	
5 火	
6 水	
7 木	◆第1学期始業式・新任式 ◆大宜味中学校入学式
8 金	◆いぎみていくま展～10日まで ◆大宜味小学校入学式 ◆春の交通安全出発式
9 土	
10 日	

※このカレンダーは予定ですので、都合により変更されることがあります。各業務については電話等で確認してください。

# 村内アレコレ



## おおぎみ展



1月22日から24日までの3日間、「第42回おおぎみ展」が大宜味村農村環境改善センターで開催されました。展示には国指定重要無形文化財の「喜如嘉の芭蕉布」をはじめ、木工、陶芸、絵画など、子どもからお年寄りの

方々の作品200点あまりが出展されました。

作品の展示だけでなく、2日目と3日目の芸術講座では、参加者一人ひとりが、思いのこもった絵手紙を仕上げました。その他にも、親子ふれあいクイズでは、最後まで残った正解者へ、村内工芸家からの作品がプレゼントされました。一階エントランスで行われた企画展では、平成28年3月に閉校する村内4小学校の昔の校舎や当時の集合写真など展示されており、写真を懐かしむ方々で賑わい、まるでその場だけ時が止まっているようでした。

## 障害者自立支援協議会



1月26日、大宜味村役場会議室にて、障害者の自立した地域生活を支援するための方法などを検討するため「大宜味村障害者自立支援協議会」を開催しました。委員として社会福祉協議会や村身体障害者協会の他、サービス事業所などの福祉関係者が多数出席し、協議会及び専門部会の経過や次年度に向けてのスケジュール等を確認しました。今年度は障害者の就労や相談の受け入れ体制などについて議論が多く交わされました。今後は情報共有や課題の整理を関係機関が一緒に行えるよう、さらに連携を図っていくことを確認しました。

委員として社会福祉協議会や村身体障害者協会の他、サービス事業所などの福祉関係者が多数出席し、協議会及び専門部会の経過や次年度に向けてのスケジュール等を確認しました。今年度は障害者の就労や相談の受け入れ体制などについて議論が多く交わされました。今後は情報共有や課題の整理を関係機関が一緒に行えるよう、さらに連携を図っていくことを確認しました。

## 生物多様性「記念植樹」



1月30日、大宜味村生物多様性センター(市田則孝センター長)の呼びかけにより、屋古区でチョウの里作りを目指す「植樹活動」が行われました。当日は、宮城功光村長をはじめ、企画観光課、屋古区民、屋古でチョウの観

察を続けている塩屋小学校児童、村内NPO法人やんばる森のトラスト、やんばる舎、また村外からは競馬騎手の岡部幸雄夫妻、株式会社リコーから25名が社会貢献活動として参加し、総勢50名で植樹が行われました。この日は、県天然記念物のコノハチョウの幼虫が食べる「スズムシソウ」と多くのチョウが好む「ハイビスカス」の植え付けを実施し、植樹後は児童達による「屋古のチョウの研究」発表が行われました。宮城功光村長は、「本村の児童達の自然観察活動は、全国でも高く評価されている。今後も保全活動が継続できるような村づくりを推進したい」と挨拶し、参加者に謝意を表しました。

## 大宜味村観光・物産親善大使



2月20日、役場村長室にて株式会社日本アドバンス 代表取締役の重田辰弥氏へ「大宜味村観光・物産親善大使」として委嘱状を交付しました。重田さんは、東京で次世代経営者の育成や沖縄県の産業振興・雇用支援を行う関東沖縄経営者協会会長を務め、また、美ら島沖縄大使として広く沖縄の為活躍しており、現在は本村産のシークワサーを始め、特産品の販路拡大に尽力されています。その功績をふまえ、今後も本村の地域振興のため活躍されることを願い、村観光・物産親善大使に就任となりました。

重田さんは、東京で次世代経営者の育成や沖縄県の産業振興・雇用支援を行う関東沖縄経営者協会会長を務め、また、美ら島沖縄大使として広く沖縄の為活躍しており、現在は本村産のシークワサーを始め、特産品の販路拡大に尽力されています。その功績をふまえ、今後も本村の地域振興のため活躍されることを願い、村観光・物産親善大使に就任となりました。

## 地域円卓会議 in 大宜味村



2月4日、若者の定住と働き方をテーマとした地域円卓会議「県内の北部地域の若者の定住と働き場所について考える 大宜味村編」が村役場会議室にて開催され、大学や企業、行政、村内外から約50名が参加しました。本事業は琉球大学と名城大学が起点となり、県内5ヶ所(久米島・石垣島・宮古島・国頭村・大宜味村)で開催され、会議で議論された課題をもって、地域ごとの共通点と独自性を認識し、地域内で共有することで、その課題を地域全体で解決に導くチーム作りを目指しています。参加者で議論した結果、早い段階での学生への情報発信や大学・商工会・農業者・報道等の多様な分野との連携などが提案され、参加者からは「村の現状を知り、課題や解決策が見えた気がした。村外からの刺激がもっとあっていいように感じた。」と話してくれました。

参加者で議論した結果、早い段階での学生への情報発信や大学・商工会・農業者・報道等の多様な分野との連携などが提案され、参加者からは「村の現状を知り、課題や解決策が見えた気がした。村外からの刺激がもっとあっていいように感じた。」と話してくれました。

## 竹下和男先生による講演会



2月21日、子どもが作る「弁当の日」の提唱者である竹下和男先生による講演会「親から子へ台所で育む生きる力」が大宜味村農村環境改善センターで開催されました。講演では、脳や心の発達について触れながら、「こどもは置かれた環境に順応していく」や「人は環境を変える脳を持っている」など、映像を使いながら親が子にしてやれることについて話されました。参加された方からは「子どものために何でも親がやるのが、その子の成長のために繋がってなかったことに気づかされました。考え直す良い機会になりました。」と語ってくれました。

講演では、脳や心の発達について触れながら、「こどもは置かれた環境に順応していく」や「人は環境を変える脳を持っている」など、映像を使いながら親が子にしてやれることについて話されました。参加された方からは「子どものために何でも親がやるのが、その子の成長のために繋がってなかったことに気づかされました。考え直す良い機会になりました。」と語ってくれました。